

春なのに・・・インフルエンザの情報です。



この時期、B型インフルエンザの患者数が増加しているそうです。一部の地域でスポット的に流行が続いていることから、「春インフル」という言葉も聞かれます。

春先の気候は寒暖差が激しく、自律神経のバランスが不安定になります。体の抵抗力が弱まると感染症にかかりやすくなります。

花粉症？ 風邪？ インフルエンザ？

インフルエンザでも高熱が出るとは限りません。熱がなくても頭痛や関節痛、全身のだるさなどが急激に現れます。

この季節は、症状が出始めても花粉症か、風邪か、インフルエンザか、わかりにくいですが、全身症状がある時は要注意です！

特に、免疫力や体力が低下しがちな透析患者さんの場合は感染防止の対策がとても重要です。

ご自身の体調の変化に気を配り、早めに対処することで感染の広がりを防ぐことができます。



感染症の広がり、たったひとりの発症から！

感染症はひとりの発症をきっかけに広がっていきます。ウイルスが手に付着しただけでは感染しません。ウイルスがついた手で鼻や口などを触るとそこからウイルスが侵入し感染していきます。感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染よりも自分の手を介しての感染の方が何倍も多いとの報告もあります。

ウイルスを体内に取り込まないためにも、外出の時は「マスクを着用」、外出から戻ったら必ず「うがい・手洗い」をしっかりと継続しておこないましょう。感染予防を万全にして、10連休のゴールデンウィークを楽しく過ごしましょう！



< 透析室からのお願い >

透析前にみなさまの体調をお伺いしております。

体調がよくないときや変化のあった時は、「必ず、透析を始める前に」スタッフに声をかけてください。

透析が始まってからでは急を要する場合などに必要な検査ができません。

また、具合が悪い時は透析日を待たずに外来で診察を受けましょう。早期に適切な治療を受けることで症状が軽く済み、感染を防ぐことができます。

